YAMAHA

J



デスクトップオーディオシステム

TSX-130

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。


警告
この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


注意
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

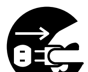


警告

電源/電源コード


必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。


プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- **異常なにおいや音がする。**
- **異常に高温になる。**
- **内部に水や異物が混入した。**
- **煙が出る。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

電源コードを傷つけない。
- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。


必ず実行

本体のON/OFFボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。
本機を完全に主電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

電池


禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。


禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止


分解禁止

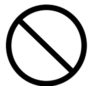
分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置


水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

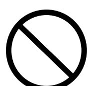
水の混入により、火災や感電の原因になります。


禁止

放熱のため本機を設置する際には:
- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意


禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。


必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。


禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

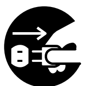
手入れ


必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

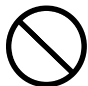
電源/電源コード


プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。


ぬれ手禁止

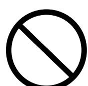
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

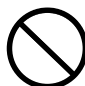
電池


必ず実行

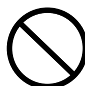
電池は極性表示(プラス＋とマイナス－)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。


必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

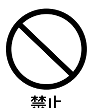

必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置


禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。


禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。


禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。


必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。


必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動


プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意


必ず実行

再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。


禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。


禁止

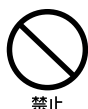
ディスクスロットには手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。


禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。


注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。


禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。


禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となります。


注意

側面の近くにブラウン管を使用したディスプレイを置かないでください。
色むらが起きることがあります。

手入れ


必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。


禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

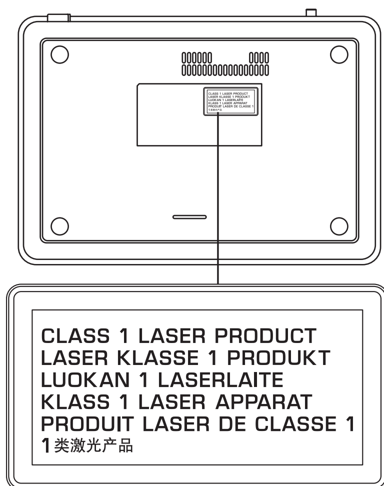

注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

レーザー

タイプ：	セミコンダクター・レーザー GaAs/GaAlAs
波長：	780nm
出力：	10mW
ビーム広がり角：	60度

製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。



ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、
有害な放射を引き起こす可能性があります。

目次

準備

本機を使用する前に 2
　システムを ON/OFF にする 4
　時計を合わせる 4

操作

便利な機能 5
　アラームを設定する 5
　スリープタイマーを設定する 8
　画面の明るさを設定する 8
　DSP モード 8
基本操作 9
音楽を聴く 10
　iPod™ を聴く 10
　CD を聴く 12
　USB 機器を聴く 13
FM ラジオを聴く 14
　アンテナを接続する 14
　放送局を選ぶ 14
　放送局をプリセットに登録する 14
　登録した放送局を選ぶ（プリセット選局） 15

その他の情報

故障かな？と思ったら 16
　全般 16
　iPod™ 16
　ディスクの再生 17
　USB 機器の再生 17
　FM 放送局の受信 17
　リモコンの操作 18
ディスクおよび USB 機器について 19
　ディスクに関するご注意 19
　ディスクの取扱いについて 19
　MP3 および WMA ファイルについて 19
用語解説 20
主な仕様 20

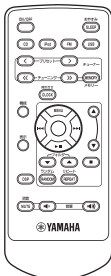
■ 本書について

- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、本体での操作を中心に記載しています。
- ☞ は参照先のページを表します。
- 「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、💡 では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

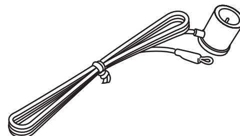
■ 付属品

梱包箱を開封後、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

リモコン



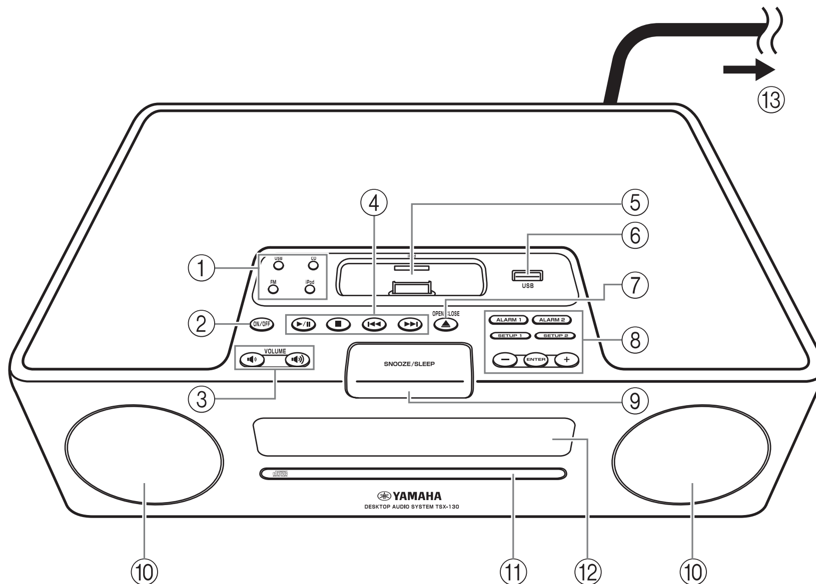
FM 簡易アンテナ
1.4 m

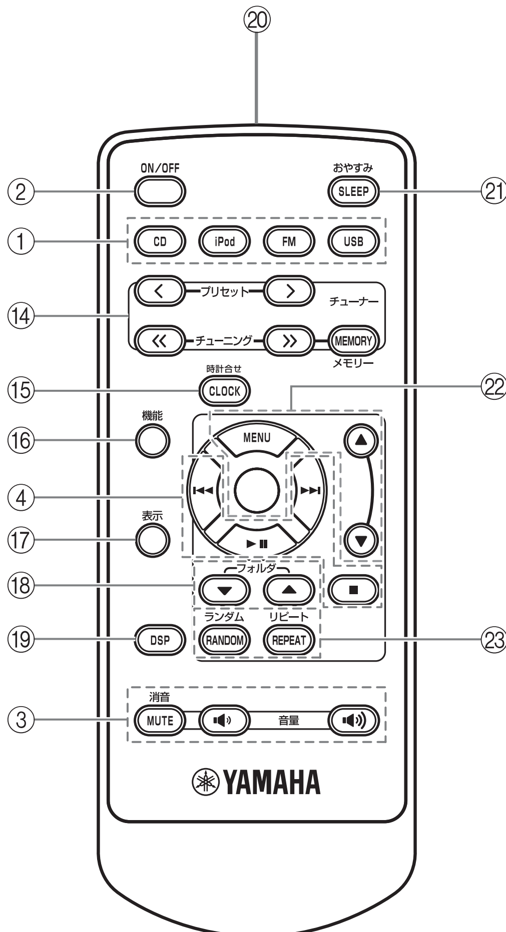


取扱説明書



本機を使用する前に

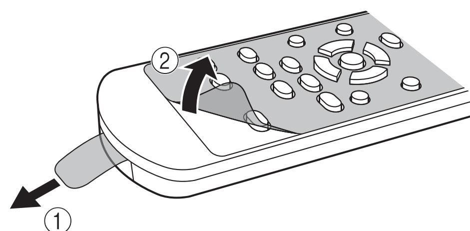




① ソースボタン : USB、CD、FM、iPod（☞ P. 9）
② ON/OFF ボタン：システム ON/OFF（☞ P. 4）
③ 音量コントロールボタン（☞ P. 9）
④ オーディオ操作ボタン（☞ P. 9）
⑤ iPod 端子（☞ P. 10）
⑥ USB ポート（☞ P. 13）
⑦ OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ） ⏏ ボタン：ディスクトレイ開閉（☞ P. 12）
⑧ ALARM（アラーム） 設定ボタン（☞ P. 5）
⑨ SNOOZE（スヌーズ）/SLEEP（スリープ） ボタン（☞ P. 7、8）
⑩ スピーカー
⑪ ディスクトレイ（☞ P. 12）
⑫ フロントパネルディスプレイ（☞ P. 4）
⑬ コンセントへ
⑭ FM 操作ボタン（☞ P. 14）
⑮ 時計合わせボタン（☞ P. 4）
⑯ 機能ボタン
⑰ 表示ボタン（☞ P. 11、12、13）
⑱ フォルダ ▲/▼ ボタン（☞ P. 13）
⑲ DSP ボタン：DSP モード切替（☞ P. 8）
⑳ 赤外線信号送信部（☞ P. 3）
㉑ おやすみボタン：スリープタイマー設定（☞ P. 8）
㉒ MENU（メニュー） 操作ボタン / センターボタン *（☞ P. 10）
㉓ ランダム / リピートボタン：再生モード切替（iPod/CD/USB 再生時）（☞ P. 10、12）

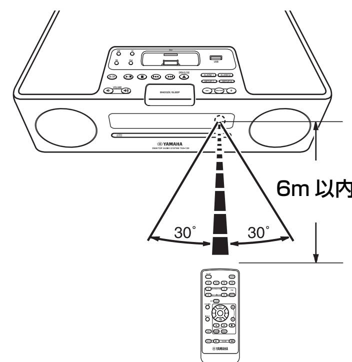
* この取扱説明書では、中央の丸いボタンを**センター**ボタンと呼びます。

■ リモコンを使用する前に



① リモコンを使用する前に、絶縁シートを引き抜いてください。
② リモコンを使用する前に、外装保護シートをはがしてください。

■ リモコンを使用する



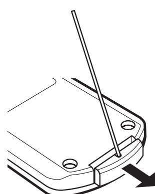
リモコンで本機を操作するときは、リモコンの赤外線信号送信部を本体のリモコン受光部に向けます。リモコン操作が可能な範囲は、本体から 6m 以内です。

ご注意

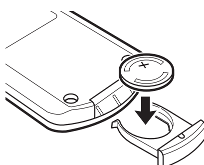
· リモコンに水や飲み物などをこぼさないようご注意ください。
· リモコンを落としたり、リモコンに強い衝撃を与えたりしないようご注意ください。
· リモコンを以下のような場所に放置しないでください。
  — 気温・湿度が高い場所（ヒーターの近くや風呂場など）
  — 極端に気温が低い場所
  — ほこりっぽい場所

■ リモコンの電池を交換する

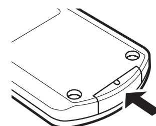
リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。



先の細いピンなどで電池ケースを取り外します。



新しい CR2025 型ボタン電池を電池ケースに挿入します。



電池ケースをリモコンに装着します。

ご注意

· 電池の向き（＋ / －）を正しく挿入してください。
· 使い切った電池はただちにリモコンから取り出してください。リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液漏れの原因となります。
· 電池が液漏れしている場合は、ただちに電池をリモコンから取り出し、廃棄してください。その際、肌や衣服が漏れているバッテリー液に触れることのないよう十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合はきれいに拭き取ってから新しい電池を挿入してください。
· 新しい電池に取り替える前に、電池ケースの汚れをふき取ってください。
· 使い切った電池は地域の条例または取り決めに従って廃棄してください。

システムを ON/OFF にする

1　電源コードをコンセントに接続する。

2　ON/OFFボタンを押してシステムをONにする。

システム ON のとき :「Hello」と表示されたあと、時計とその他の情報が表示されます。



例：iPod 再生時

システム OFF のとき :「Good-bye」と表示されたあと、日付と時計が表示されます。





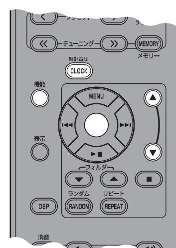
- 音楽が再生されないまま、なにも操作しない状態が 1 時間以上続いた場合、自動的にシステムが OFF に切り替わります（自動システム OFF 機能）。ただしソースが FM に設定されている場合、この機能は作動しません。

システム OFF 時の待機電力を最小にしたい場合は

- 本体の ON/OFF ボタンを 3 秒以上押し続けると、システムがスタンバイに切り替わります。スタンバイモード時には、フロントパネルディスプレイの表示がされなくなり、電力の消費を抑えることができます。スタンバイ状態から復帰するには、ON/OFF ボタンを押します。
- システム OFF およびスタンバイ時でもアラーム機能は作動します。
- システム OFF およびスタンバイ時にも、設定などを保持します（メモリーバックアップ機能）。

時計を合わせる

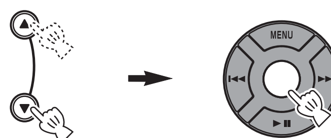
初期状態では時計は設定されていません。



1　時計合わせボタンを押す。



2　MENU（メニュー） ▲/▼ ボタンで各数値を設定し、センターボタンで確定する。



年→月→日→時刻の順で設定します。

ご注意

- この機能は、リモコンからのみ設定できます。
- 初期状態では時刻は 12 時間制（AM/PM）で表示されます。
- 以下の操作で時刻の表示方法（12 時間制 /24 時間制）を切り替えることができます。

  機能ボタン→ MENU（メニュー） ▲/▼ ボタンで TIME（タイム） FORMAT（フォーマット） を選択→**センター**ボタンで確定→ 12H もしくは 24H を選択し確定します。
- 電源コードをコンセントから抜くなどして、電力が 1 週間以上供給されないと時計の設定はリセットされます。

便利な機能

アラームを設定する

本機は別々に設定できる 2 つのアラームを持っており、お好みでビープ音と音楽を合わせてアラーム時刻に再生できます。
設定したアラーム時刻は、フロントパネルディスプレイの時計の左右に表示されます。アラームがオンに設定されると、アラームインジケーターとアラーム時刻が表示されます。
設定中に聴いている音楽とは別の音楽をアラームとして設定できます。

ご注意

この機能は本機のトップパネルからのみ設定できます。

■ アラーム時刻、音の設定

ご注意

設定途中で設定を終了したいときは SETUP1 もしくは SETUP2 ボタンを押してください。それまでの設定をキャンセルします。

1 設定するアラーム番号を選ぶ。

アラームを ALARM1 に設定するときは SETUP1 ボタンを、ALARM2 に設定するときは SETUP2 ボタンを押します。

2 アラーム時刻を設定する。

ー、＋ボタンで時刻を設定後 ENTER ボタンで確定し、次の設定に進みます。

ALARM1 7:00AM 10:30PM ALARM2 6:45AM
ALARM1 [7:00AM] >

フロントパネルディスプレイ右の「>」マークは次に設定する項目があることを示します。

3 TYPE を設定する。

アラーム時刻を設定したあと、BEEP/BEEP＋MUSIC/MUSIC からアラーム再生のタイプを選択します。

— BEEP：ビープ音のみを再生します。
— BEEP+MUSIC：ビープ音と音楽を再生します。設定した時刻の少し前からお好みの音楽の再生を開始し、設定時刻になったらビープ音を鳴らします。
— MUSIC：音楽のみを再生します。

ALARM1 7:00AM 10:30PM ALARM2 6:45AM
TYPE [BEEP+MUSIC] >

操作

4 BEEP を設定する。

ビープ音を選択します。
本機では 5 種類のビープ音を選択できます。

ステップ 3 で MUSIC、もしくは BEEP+ MUSIC に設定した場合、この画面は表示されません（BEEP + MUSIC 選択時、ビープ音は自動的に TONE1 に設定されます）。





ビープ音選択時、SNOOZE/SLEEP ボタンを押すことで表示中のビープ音を試聴できます。停止させたい場合はもう一度 SNOOZE/SLEEP ボタンを押します。

5 SOURCE を設定する。

音楽ソースを iPod/FM/CD/USB/LAST SET から選択します。

ステップ 3 で BEEP に設定した場合、この画面は表示されません。



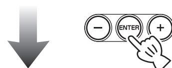
iPod を選択した場合

再生方法を PLAYLIST/RESUME PLAY から設定します。

アラーム時刻にプレイリストの最初の曲から音楽が再生されます。この場合、前もって iPod にプレイリストを作成しておく必要があります（☞ P. 6）。

PLAYLIST を選択し、確定します。





プレイリストを選択し、確定します。



ご注意

本機のフロントパネルディスプレイは英数字のみ表記できます。英数字以外の文字は「 _ 」で表示されます。

RESUME PLAY に設定した場合、最後に聴いていた曲の続きからアラームとして再生します。



CD を選択した場合

オーディオ CD：トラック番号を設定します。
MP3/WMA CD：フォルダ番号を指定します。アラーム時刻に指定フォルダ内の最初の曲から音楽が再生されます（☞ P. 19）。

USB（MP3/WMA ファイル）を選択した場合

フォルダ番号を設定します。アラーム時刻に指定フォルダ内の最初の曲から音楽が再生されます（☞ P. 19）。

FM を選択した場合

プリセット番号 / 周波数を設定します。

LAST SET を選択した場合

前回と同じ設定でアラームを再生します。

ご注意

アラーム再生時に、設定されたソース（iPod/USB/CD）などが認識できない場合、本機は代わりにビープ音を再生します。

プレイリスト

iPod のライブラリ内のお好みの曲をリストにしたものをプレイリストと呼びます。再生時にプレイリストを選ぶと、プレイリスト内の曲が順番に再生されます。プレイリストから曲を削除しても、ライブラリからは削除されません。



プレイリストについての詳細はお手持ちの iPod の取扱説明書を参照してください。

6 VOLUME を設定する。

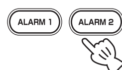
－、＋ボタンで音量値を設定後、ENTER ボタンで確定し、アラーム設定を完了します。
アラーム設定が完了すると自動的にアラームがオンに設定されます。



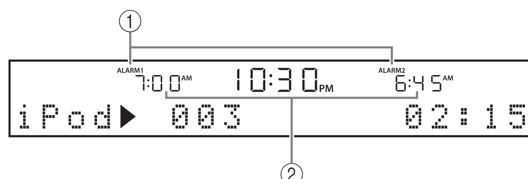
■ アラームをオン / オフにする

アラームをオン / オフするには、ALARM1 もしくは ALARM2 ボタンを押します。この操作ではアラームの設定は消去されません。

アラームをオン / オフにする。



アラームがオンのとき、アラームインジケーターとアラーム時刻が表示されます。

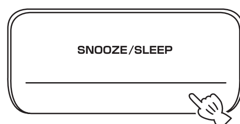


① アラームインジケーター
② アラーム時刻

■ スヌーズ機能を使用する

アラームが再生されているときに、アラーム音を一時的に止めることができます（スヌーズ機能）。

アラーム音が再生されているときに本機の SNOOZE/SLEEP ボタンを押す。



スヌーズ機能はアラームの TYPE 設定（☞ P. 5）により機能が異なります。

BEEP 設定時：一時的にビープ音を停止し、5 分後に再びビープ音を再生します。

MUSIC 設定時：一時的に音楽を停止し、5 分後に再び音楽を再生します。

BEEP + MUSIC 設定時：音楽は再生したまま一時的にビープ音を停止し、5 分後に再びビープ音を再生します。

リモコンの**おやすみ**ボタンでも操作できます。

■ アラームを停止する

アラームは以下の 3 種類の方法で停止します。アラームを停止すると、システムは OFF になります。

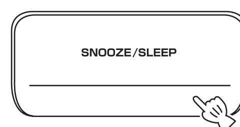
ALARM1 もしくは ALARM2 ボタンを押す。



ON/OFF ボタンを押す。



SNOOZE/SLEEP ボタンを 2 秒間長押しする。





- アラームを停止しないと、アラームは 60 分後に自動的に停止します。
- アラームを停止するとアラームインジケーターが消えます。もう一度アラームを有効にするには、再度 ALARM 1 もしくは ALARM2 ボタンを押してアラームをオンにしてください。
- アラームを停止しても時刻など設定した内容は保持されます。

ご注意

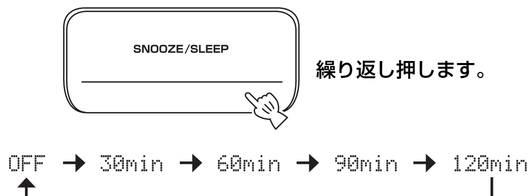
アラーム再生中は、スヌーズ、アラーム停止、音量調整以外の操作は受け付けません。

操作

スリープタイマーを設定する

自動的にシステム OFF になるまでの時間を設定します。

システム OFF になるまでの時間を選ぶ。

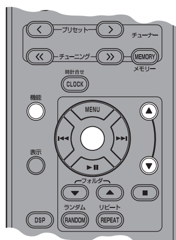


スリープタイマーが設定されると、スリープインジケーターがフロントパネルディスプレイに表示されます。


リモコンの**おやすみ**ボタンでも操作できます。

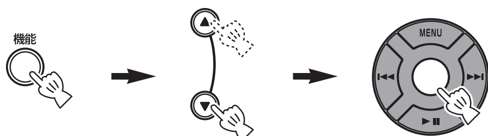
画面の明るさを設定する

フロントパネルディスプレイの明るさを調節できます。
AUTO に設定した場合、自動的に室内の明るさに対して適した明るさに調整されます。例えば室内が暗い場合、パネルも暗く表示されます。




初期状態では AUTO に設定されています。

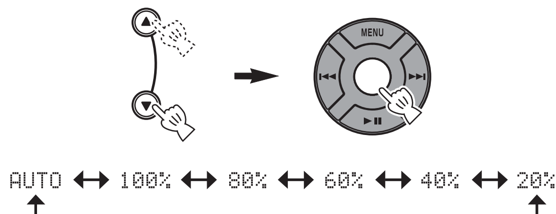
1 **機能**ボタンを押して、DIMMER を選択する。




センターボタンで確定したあと、フロントパネルディスプレイの左側に「<」マークが表示されます。このとき、リモコンの MENU ボタンで機能メニューに戻ることができます。

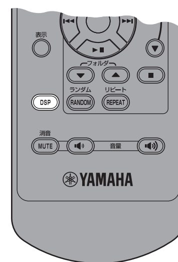
2 画面の明るさを選択する。

MENU▲/▼ ボタンで選択し、**センター**ボタンで確定します。



DSP モード

部屋の構造やお好みに応じて、音の特性を切り替えることができます。



繰り返し DSP ボタンを押す。



繰り返し押します。

DSP ボタンを押すと、以下の順番で DSP モードが切り替わります。

NORMAL：本機の標準のサウンド

MILD：ナチュラルでやわらかいサウンド

HEAVY：力強いサウンド (初期設定)

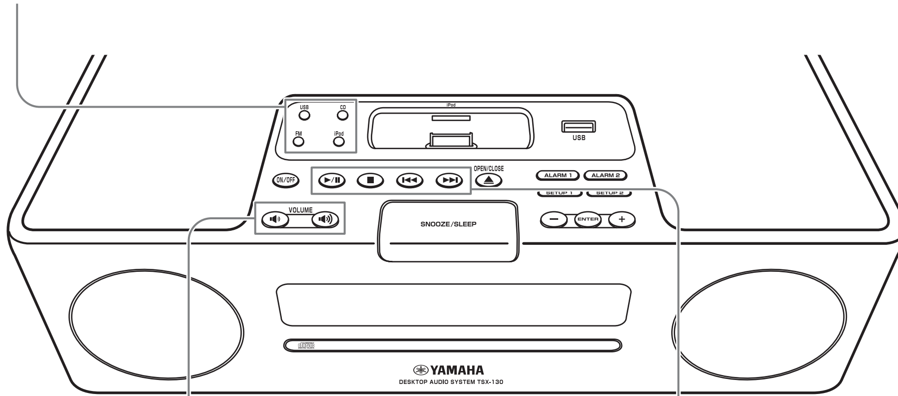
LIVE：左右に拡がった臨場感あるサウンド

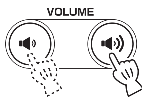
NORMAL に戻る

基本操作



：再生したい音楽ソースのソースボタンを押します。* **

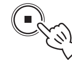




：音量を調節します。



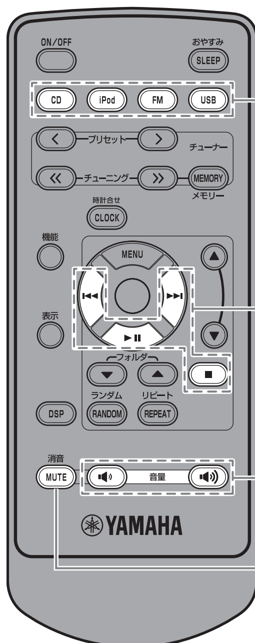
：再生 / 一時停止をします。**



：再生を停止します。**



：曲のスキップ、
早戻し / 早送りをします。



再生したい音楽ソースの
ソースボタンを押します。*

曲のスキップ、早戻し / 早送り、
再生 / 一時停止、停止をします。**

音量を調節します。

消音します。もう一度押
すと消音が解除されます。

* システム OFF 状態でも、再生したい音楽ソースのソースボタンを押すと再生を開始します。

** 再生は前回停止したところから再開されます。CD/USB 機器再生時は、前回途中で停止した曲の最初から再生されます。停止中に再度■を押した場合、次回 CD もしくは USB 機器内の最初の曲から再生します。

操作

音楽を聴く

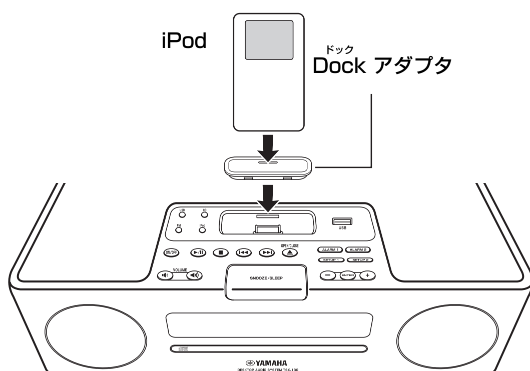
iPod™ を聴く

ご注意

- 本機は iPod touch、iPod（iPod classic を含むクリックホイール仕様）iPod nano、iPod mini に対応しています。
- iPod はいつでも好きなときに取り外せます。
- お使いの iPod のモデルやソフトウェアのバージョンによってはご使用できない機能もあります。

■ 通常再生

1 iPod を iPod 端子に接続する。



ご注意

- 本機と iPod を接続する際には、お手持ちの iPod に Dock（ドック）アダプタ が付属している場合はそれを、付属していない場合は、市販の iPod Universal（ユニバーサル） Dock（ドック）アダプタを使用してください。
- iPod に保護ケースなどをつけたままの状態では、本機の iPod 端子にしっかり接続されない場合があります。

2 iPod を選択する。

自動的に再生が始まります。



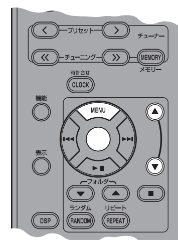


iPod の操作については、お手持ちの iPod の取扱説明書を参照してください。

■ リモコンで iPod 内の曲を選択する



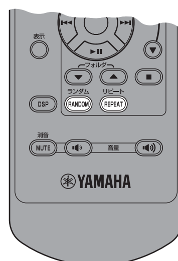
iPod からでもリモコンと同様に操作できます。



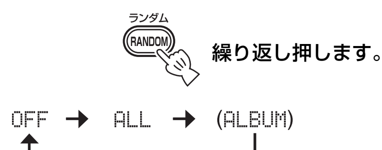
MENU（メニュー） ボタン：ひとつ前の画面に戻る
センターボタン：確定する
▲/▼ ボタン：項目を選択する

■ シャッフル / リピートモードで再生する

左記の手順 1 ～ 2 を操作後、シャッフルもしくはリピートモードでの再生をお楽しみいただけます。



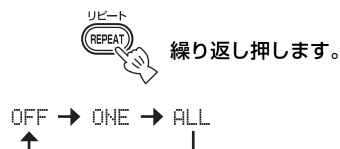
本機の**ランダム**ボタンを押して、iPod のシャッフルモードを切り替える。



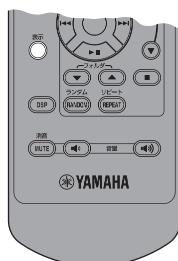
ご注意

iPod touch では ALBUM（アルバム） は設定できません。

本機の**リピート**ボタンを押して、iPod のリピートモードを切り替える。



■ 画面の表示内容を切り替える



iPod 再生時の画面の表示内容を切り替える。



繰り返し押します。

以下の順番で画面の表示内容が切り替わります。

現在の曲の再生経過時間（初期画面）

現在の曲のトラック番号と残り時間

曲名

アーティスト名

アルバム名

初期画面に戻る

ご注意

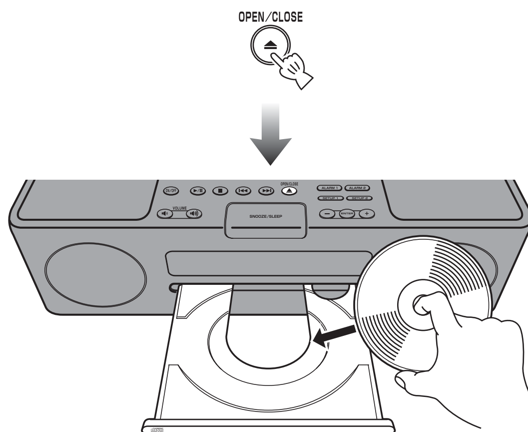
- この機能は iPod touch、iPod classic、第 5 世代以降の iPod、iPod nano でのみご利用いただけます。ただし iPod のファームウェアのバージョンによっては、上記のモデルでも使用できない場合もあります。
- 本機のフロントパネルディスプレイは英数字のみ表記できます。英数字以外の文字は「 _ 」で表示されます。
- 本機の電源コンセントを長期間抜くときは、iPod を本機から取り外してください。

操作

CD を聴く

■ 通常再生

1 ディスクトレイを開けてディスクを入れる。

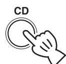


2 トレイを閉める。



3 CD を選択する。

自動的に再生が始まります。



■ ランダム / リピートモードで再生する

上記の手順 1 ～ 3 を操作後、ランダムもしくはリピートモードをお楽しみいただけます。



ランダムモードに切り替える。



繰り返し押します。

OFF → (FOLDER) → ALL

リピートモードに切り替える。



繰り返し押します。

OFF → ONE → (FOLDER) → ALL

選択された音楽ソースがフォルダを含んでいる場合、FOLDER（フォルダ）も選択できます。

■ 画面の表示内容を切り替える



CD 再生時の画面の表示内容を切り替える。



繰り返し押します。

以下の順番で画面の表示内容が切り替わります。

現在の曲の再生経過時間（初期画面）
↓
現在の曲の残り時間 *1
↓
ディスクの総演奏時間 *1
↓
ディスクの残り時間 *1
↓
曲名 *2
↓
アーティスト名 *2
↓
アルバム名 *2
↓
ファイル名 *3
↓
初期画面に戻る

*1 オーディオ CD 再生時のみ
*2 選択されたトラックが各情報を含んでいる時のみ
*3 MP3/WMA CD 再生時のみ



MP3/WMA CD 再生時のフォルダ選択については、USB 機器と同じ手順で操作してください（☞ P. 13）。

ご注意

本機のフロントパネルディスプレイは英数字のみ表記できます。

USB 機器を聴く

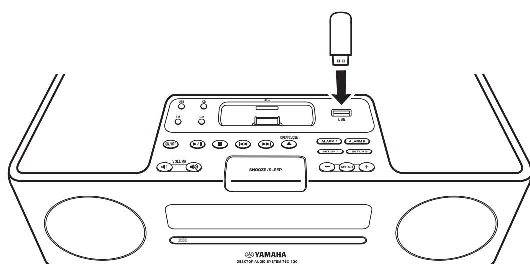
ご注意

USB 機器はいつでも好きなときに取り外せます。

■ 通常再生

1 USB 機器を USB ポートに接続する。

本機で再生できる機器は、USB マスストレージクラスに対応し、データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。



ご注意

- お使いの USB 機器によっては正常に作動しないことがあります。
- USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャーや USB ハブ）、PC、カードリーダー、外付け HDD などは本機に接続できません。
- USB 機器を本機と接続して使用しているときに、USB 機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。

2 USB を選択する。

自動的に再生が始まります。



ご注意

保存されているファイルもしくはフォルダの数によっては読み込みに 30 秒以上かかることもあります。

■ ランダム / リピートモードで再生する

上記の手順 1 ～ 2 を操作後、ランダムもしくはリピートモードをお楽しみいただけます。
CD と同じ手順で設定してください（☞ P. 12）。

■ 画面の表示内容を切り替える



USB 再生時の画面の表示内容を切り替える。



繰り返し押します。

以下の順番で画面の表示内容が切り替わります。

現在の曲の再生経過時間（初期画面）
↓
曲名 *
↓
アーティスト名 *
↓
アルバム名 *
↓
ファイル名
↓
初期画面に戻る

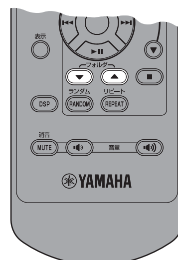
* 選択されたファイルが各情報を含んでいるときのみ

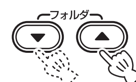
ご注意

本機のフロントパネルディスプレイは英数字のみ表記できます。

■ フォルダを選択する

USB 機器内の MP3/WMA ファイルが複数のフォルダに格納されている場合に、再生フォルダをスキップします。



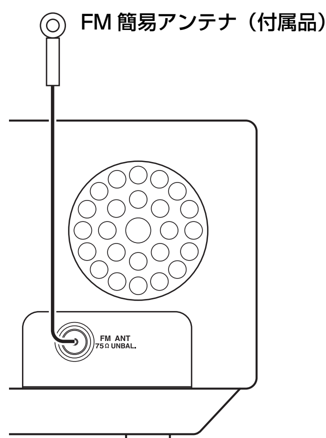




MP3/WMA ファイルについては「ディスクおよび USB 機器について」（☞ P. 19）を参照してください。

FM ラジオを聴く

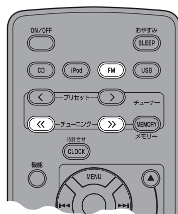
アンテナを接続する



ご注意

- アンテナはしっかりと張ってください。
- 受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えて下さい。
- 付属の FM アンテナの代わりに屋外アンテナを使用すると受信状態が良くなります。

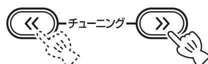
放送局を選ぶ



1 FM ボタンを押す。



2 自動チューニングをする。



長押しします。



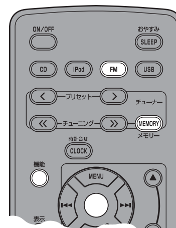
放送局の電波が弱く、受信しにくいときには、**チューニング** <</>> ボタンを繰り返し押し、手動で調整できます。

ご注意

手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、お好みの放送局を本機にあらかじめ登録できます。



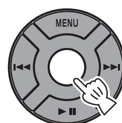
■ 自動プリセット

1 ソースが FM に設定されているときにメモリーボタンを 2 秒以上長押しする。





2 自動プリセットを開始する。



■ 手動プリセット

1 登録したい放送局を選ぶ。

2 メモリーボタンを押す。



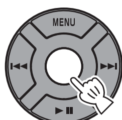
3 登録したいプリセット番号を選ぶ。



ご注意

手動プリセットをやめるには、**メモリー**ボタンをもう一度押します。

4 放送局を登録する。



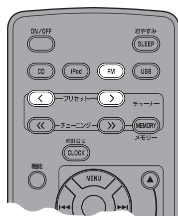


- 最大 30 曲の FM 放送局を登録できます。
- 機能メニューの PRESET（プリセット） DELETE（デリート） から登録した放送局を削除できます。**機能**ボタン→ MENU（メニュー） ▲/▼ ボタンで PRESET（プリセット） DELETE（デリート） を選択し**センター**ボタンを押したあと、不要な放送局を削除してください。

ご注意

自動プリセットを実行すると現在登録されているすべての放送局が消去され、新たにプリセットされます。

登録した放送局を選ぶ（プリセット選局）



ソースが FM に設定されているときに、登録した放送局を選ぶ。





トップパネルの ◀◀ / ▶▶ ボタンでも選択できます。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機のシステムを OFF にし、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
システムを ON にしてもすぐに OFF になる。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機のシステムを OFF にして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムを ON にしてください。
スピーカーから音が出ない。	音量が最小に設定されている。	音量を調節してください (☞ P. 9)。
	消音状態になっている。	消音を解除してください (☞ P. 9)。
	音楽ソースが正しく選択されていない。	正しい音楽ソースを選択してください (☞ P. 9)。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスクおよび再生しようとしているディスクの種類を確認してください (☞ P. 19)。
音が突然出なくなる。	スリープタイマー（☞ P. 8）を設定している。	本機のシステムを ON にして再生しなおしてください。
本機が正常に作動しない。	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機のシステムを OFF にして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムを ON にしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
時刻の設定内容が消えた。	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください（☞ P. 4）。

iPod™

症状	原因	対策
「iPod Connect Error」とフロントパネルディスプレイに表示される。	iPod との通信に異常が発生した。	本機のシステムを OFF にして iPod を接続しなおしてください。
iPod が充電されない。	iPod が iPod 端子に正しく接続されていない。	一旦 iPod を本機から取り外し、再度 iPod 端子に正しく差しなおしてください。
iPod を接続したのに「iPod Not Connected」とフロントパネルディスプレイに表示される。		
iPod の音が出ない。		
音は出るが本機またはリモコンから iPod の操作ができない。		
再生情報がフロントパネルディスプレイに表示されない。	使用している iPod が再生情報表示ディスプレイに対応していない。	この機能は iPod touch、iPod classic、第 5 世代以降の iPod、iPod nano に対応しています（☞ P. 11）。
	曲名などに英数字以外の文字が入っている。	本機のフロントパネルディスプレイは英数字のみ表記できます。英数字以外の文字は「 _ 」で表示されます。
iPod を接続したのに「Unknown iPod」とフロントパネルディスプレイに表示される。	本機で対応していない iPod を接続している。	iPod touch、iPod（iPod classic を含むクリックホイール仕様）iPod nano、iPod mini に対応しています。

ディスクの再生

症状	原因	対策
特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください（☞ P. 19）。
本体の▶/❚❚ もしくはリモコンの ▶❚❚ ボタンを押しても再生が始まらない（すぐに停止する）。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください（☞ P. 19）。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を、1 ～ 2 時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。
ディスクトレイにディスクが挿入されているときに「No Disc」とフロントパネルディスプレイに表示される。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクを取り出し、お使いのディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ P. 19）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクを取り出し、ラベル面を上にして挿入してください。

USB 機器の再生

症状	原因	対策
USB 機器内の MP3/WMA ファイルが再生できない。	USB 機器が認識されていない。	本機のシステムを OFF にして再度 ON にしてください（☞ P. 4）。
		本機のシステムを OFF にして USB 機器を取り外してください。その後、システムを ON にして USB 機器を接続しなおしてください（☞ P. 4）。
		USB 機器に AC アダプタが付属している場合、AC アダプタを接続してください。
	上記の対策をしても症状が改善されない場合、お使いの USB 機器は本機に対応していません。	別の USB 機器をお使いください。
「USB Over Current」とフロントパネルディスプレイに表示される。	本機に対応していない USB 機器を接続した。	本機を一旦システム OFF にしてから USB 機器を接続しなおしてください。 もし、再度このメッセージが 表示された場合は、接続された USB 機器は使用できません。

FM 放送局の受信

症状	原因	対策
プリセット選局ができない。	本機のメモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再度登録してください（☞ P. 14）。
ステレオ放送になると雑音が多くなる。	FM 簡易アンテナが正しく接続されていない。	FM 簡易アンテナが正しく接続されていることを確認してください（☞ P. 14）。
	選択している FM 放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の FM 放送局の受信感度が良くない。	手動選局で雑音を軽減するか（☞ P. 14）、別売りの屋外アンテナを使用してください。
屋外アンテナを使用していても受信感度が悪い（音が歪むなど）。	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」（☞ P. 3）を参照してください。
	本機のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください（☞ P. 3）。
	リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ディスクおよび USB 機器について

ディスクに関するご注意

本機は音楽 CD、CD-R/RW*、8 cm ディスクを再生できます。



*　ISO 9660 フォーマットの CD-R/RW

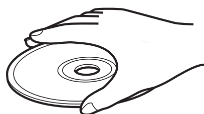


ディスクのロゴマークは、ディスクやディスクのジャケットに印刷されています。

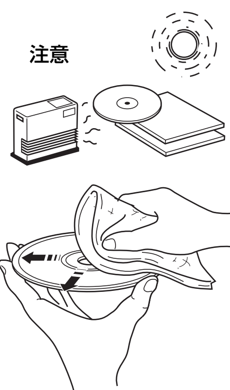
ご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW ディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスクは使用しないでください。

ディスクの取扱いについて



- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- 再生時以外はディスクをディスクトレイに入れたままにしないでください。
- ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。
- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに挿入してください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。



- ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。
- ディスクは 1 枚だけ挿入してください。2 枚以上重ねて挿入すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。

MP3 および WMA ファイルについて

本機では、CD-R や CD-RW に収録した MP3 および WMA ファイルを音楽 CD と同様に再生できます。この際、フォルダはアルバム、ファイルはトラックとして認識されます。フォルダの階層は反映されません。

ご注意

- 本機は以下のファイルに対応しています。
  - — MP3 ファイル：サンプリング周波数 8 ～ 48 kHz / ビットレート 8 ～ 320 kbps および可変ビットレート (CBR および VBR)
  - — WMA ファイル：サンプリング周波数 22.5 ～ 48 kHz / ビットレート 16 ～ 320 kbps および可変ビットレート (CBR および VBR)
- 本機が表示できるファイルおよびフォルダは以下の通りです。ただし、本機で再生できないファイルやフォルダが含まれている場合は、それらを除いた数が表示されます。
  - — 最大ファイル数：511 (データ CD) / 9959 (USB 機器)
  - — 最大フォルダ数：255 (データ CD /USB 機器)
  - — 1 フォルダ内の最大ファイル数：511 (データ CD) / 255 (USB 機器)
- 著作権保護がされているファイルは再生できません。
- フォルダ、ファイル番号は自動的に割り振られます。

用語解説

■ MP3 (MPEG Audio Layer-3)
MPEG で利用される音声圧縮方式の一つ。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引く非可逆圧縮方式を採用しています。音楽 CD 並みの音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できるといわれています。

■ WMA (Windows Media Audio)
Microsoft 社が開発した音声圧縮方式。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引く非可逆圧縮方式を採用しています。音楽 CD 並みの音質を保ったままデータ量を約 1/22（64 kbps）まで圧縮できるといわれています。

■ PCM (Pulse Code Modulation)
アナログ信号を圧縮せずに変調記録する方式。音楽 CD は、44.1 kHz/16 bit で記録されています。

■ トラック
CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

主な仕様

■ プレーヤー部

iPod
・対応 iPod .... iPod touch、iPod（iPod classic を含むクリックホイール仕様）、iPod nano、iPod mini

CD
・メディア .... CD、CD-R/RW
・オーディオフォーマット .... Audio CD、MP3、WMA

USB
・オーディオフォーマット .... MP3、WMA

■ アンプ部
・最大出力 .... 15 W + 15 W（6Ω 1 kHz、10% THD）
・ドライバユニット................... 8 cm フルレンジドライバ× 2

音楽を楽しむエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

iPod™
iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

■ チューナー部

FM
・受信周波数範囲 .... 76.0 ～ 90.0 MHz

■ 総合
・電源電圧 / 周波数 .... AC 100 V、50/60 Hz
・消費電力 .... 20 W
・待機時消費電力 (スタンバイ時) .... 1.0 W 以下
・外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) .... 350 × 120 × 240 mm
・質量 .... 4.0 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れのしかた
キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

本機の設置や設定、操作に関するお問い合わせ

■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器相談窓口

ナビダイヤル（全国共通）  0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日10：00～18：00　土曜日10：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通）  0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830

FAX（053）463-1127

受付：月～金曜日9：00～18：00　土曜日9：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

修理お持ち込み窓口
受付：月～金曜日9：00～17：45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

北海道	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 FAX (011)512-6109
首都圏	〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX (03)5762-2125
浜松	〒435-0016 浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 FAX (053)462-9244
名古屋	〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F FAX (052)652-0043
大阪	〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F FAX (06)6330-5535
九州	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、 一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する 部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

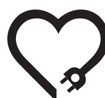
● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ･リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード･プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常･故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検･修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1



ヤマハ株式会社
Printed in Malaysia WQ45700-2